

(仮称)第3期柏市地球温暖化 対策計画案について(総論)

計画のコンセプト

【計画策定の視点】

- 温室効果ガス排出状況を分野別に分けてその傾向を掴み、分野ごとの対策方向性を定めていく。
- 基本方針を整理し、そのもとで各温暖化対策を体系化する。
- 前計画の優れた点などは、しっかりと引き継いでいく。

【編集の視点】

- 地球温暖化問題への理解をしてもらうための工夫をする。
- 図やグラフを用い、ビジュアルに表現する。

計画の構成

【総論部分】

第1章 地球温暖化の理解のために

⇒温暖化が起こる仕組み, 気候変動の状況, 世界の取り組み

第2章 柏市の温暖化対策の歩みと現状

⇒柏市が積み重ねてきた地球温暖化対策の歩みから本計画の意義を説明。

⇒第二期計画対策の現状とその結果としての温室効果ガスの排出状況

第3章 柏市の温暖化対策の基本方針と削減目標

⇒基本方針の前提条件を整理の上で, 基本方針を明示。

⇒本計画の基本フレームや削減目標量を明示

計画の構成

【各論部分】⇒次回審議会で提示

第4章 温室効果ガス排出量削減に向けた施策（緩和策）

⇒①省エネルギー・創エネルギーの推進 ②緑と自然を守る
③環境にやさしい移動と地域が元気になるまち ④環境に配慮した街づくりの推進

第5章 温暖化による影響に備えた施策（適応策）

⇒①自然災害に備える（防災・雨水対策） ②健康対策（感染症・熱中症・生活空間） ③緑地水辺保持（水の涵養）

第6章 計画の推進

⇒（1）環境教育と市民との協働 （2）推進体制と進捗管理
（3）事業者報告の公表と支援

第二期計画と本計画との共通点

- 「持続可能性」をキーワードに据える。
- エネルギー対策を，温暖化対策の中心軸とする。
- 温暖化対策と地域社会の活性策を両立させていく。

第二期計画と本計画との主な相違点

- 適応策を新たに温暖化対策として位置付け
- 分野別に温室効果ガスの排出傾向を分析
- まちづくり(都市基盤整備)分野の指針を取り入れ